

第2回調布飛行場整備検討会 議事概要

日時： 令和7年1月28日（火曜日） 14時00分～15時15分

場所： 都庁第二本庁舎10階 209会議室

議事

（1）検討の進め方（見直し案）

（2）インタビュー調査結果

（3）各種施設の状況

資料に沿って事務局より各事項について説明を行った。

（4）プレゼンテーション

三浦委員より、空港に併設する公共空間エリアの重要性について説明のうえ、誰にも開かれた居場所づくりに向けたデザインやマネジメントについて、参考事例の紹介を交えたプレゼンテーションがあった。

（5）意見交換

調布飛行場の老朽施設の対応を進める中で、将来的に調布飛行場にどのような機能を導入し、どのような取組を進めるべきかについて、関係者へのインタビュー調査の結果をもとに意見交換を実施した。

委員からの主な意見は以下のとおり

- ・人が集まるためにも公共交通を充実できないか。
- ・リニア中央新幹線開業以後は、中部、関西圏からも集客が可能となる。交通アクセスの変化が見込まれる視点からも考えていくことが大事ではないか。
- ・子供にとっても夢があるような施設にしていけると良いのではないか。
- ・周辺の施設とシナジーがある施設を誘致していけないか。
- ・立地地域の住民が、飛行場を含めた周辺地域を誇りに思うような取組を仕掛けていく工夫を行うべき。
- ・東京都の地域防災計画では、広域的な観点からの調布飛行場の活用が謳われている。一方で、地元市の視点に立って必要な施設を考えることも大事になる。
- ・安全面を最優先とすることは欠かせない。
- ・将来にわたって、航空の地域拠点としての機能を発揮できるよう、必要な駐機場スペースを確保することも求められる。
- ・飛行場を周辺から受け入れられるようにするためには、運用方法の検討も重要となる。次回の検討会では、地域の方の意見も伺って検討を積み重ねていきたい。

次回予定

令和7年3月開催予定

以上